

小学生こども特派員



川崎颯佑さん

この経験を生かして、取手市の魅力をもっと探してみんなに伝えたいです。日本ファブテックの工場を知ったことで、もっと取手を知りたいと思いました。

また、こども特派員の仲間とのチームワークの大切さも学びました。緊張していたけれど、取材で楽しく話せたので、これからも仲間と協力することを大事にしたいです。



長塚琥太郎さん

私は、小学校の広報委員会に入っています。今回の取材の経験を生かして、小学校の皆さんに分かりやすく伝えていきたいと感じました。

日本ファブテックの工場にはクレーンが60台もあります。クレーンで橋の部品や鉄をつり上げて運んでいて、そのうちの3台は、磁石の磁力で鉄板を運んでいることに驚きました。



若林桜菜さん

この活動で楽しかったのは、質問しながら日本ファブテックの皆さんからいろいろな仕事の内容を聞いたことです。

日本ファブテックにはクレーンが60台もあることや、たくさんの橋作りに関わっていることにびっくりしました。これからは、橋を渡る時に上や下の構造をよく見てみたいです。家族や友だちにもこの経験を伝えたいです！

中学生こども特派員



鎌田心春さん

芸術は作者の個性や世界観を自由に表現するものだと感じました。

藝大取手校地の方が身近なものや高価なものを使い、全力で表現する姿が印象的

でした。取材は質問や記録をすることが大切で、取材相手への感謝を忘れないことを学びました。作品の説明を聞くと見方が変わり、100年前の作品が残っていることや、現代の自由な表現が面白いと感じました。



豊島ゆずさん

私は、中学生こども特派員として取手市の魅力を伝える活動をする中で、藝大取手校地の作品を見学しました。

作品は、絵画だけでなく立体作品もあることを知り、驚きました。特に、テントウムシ型のサーカステントの模型が印象的でした。段ボールなどの素材で作られている工夫に感動しました。取手藝祭は、取手市の魅力の一つだと思います。